

株式会社科学技術開発センター

Pick Up!

平成26年度

■事業計画名

県下初の環境負荷物質における自動迅速
分析と低コスト分析の確立

■概 要

オートアナライザーを導入し従来手分析で
あった環境負荷物質の測定を全自動化する。

自動化により多検体の同時測定、測定時間短
縮を実現させ、近年需要の高い環境負荷物質の
多検体迅速測定を確立し、競合他社との差別化
と競争力強化を図り売上増加を実現する。

■分 類

<対象類型> ものづくり技術

<事業類型> 設備投資のみ

■成 果

オートアナライザーの導入で、手分析で
あった環境負荷物質測定的全自動化が可能と
なった。

自動化により多検体の同時測定、測定時間の
短縮が図られ、従来法と比較し大幅に使用試薬
及び消費電力の削減も達成された。



大気測定



最先端分析器 (LC / MS / MS)



水質検査

水、大気、土壌、騒音など、環境保全のための
分析・測定・検査を担う総合コンサルタント企業。

工場、建設関連の検査需要増える

人の健康と豊かな生活に大きく影響する環境。気候変動と地球温暖化への対策をはじめ、持続可能な社会づくりへの取り組みが全世界で行われています。

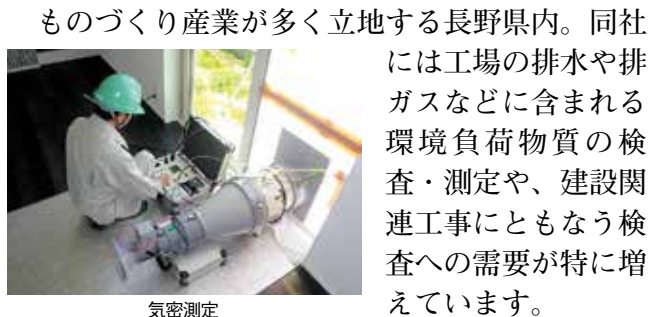


水質分析

科学技術開発センターは、水、大気、土壌などの分析・検査、騒音、悪臭などの測定・調査、建物診断などを行う総合コンサルタント企業。1984（昭和59）年創業以来、高い技術力と最新機器を駆使し、地域の環境保全のための分析・評価に取り組んでいます。

同社が手がける業務は、次のような幅広い領域に及びます。

- ①地下水・河川水・温泉水・工場排水・ゴルフ場農薬などの他、飲料水水質検査、簡易専用水道検査、土壌・産業廃棄物などの検査・分析
- ②ボイラー・焼却炉などのばい煙発生施設から排出されるガス、PM2.5やダイオキシンなど大気中の有害物質、特定工場や特定建設作業によって生じる騒音・振動や悪臭などの測定・調査
- ③GPS、ドローン、3Dレーザースキャナなど最新技術・機器による建設コンサルタント（測量）業務、建物診断



気密測定

ものづくり産業が多く立地する長野県内。同社には工場の排水や排ガスなどに含まれる環境負荷物質の検査・測定や、建設関連工事にとともなう検査への需要が特に増えています。

県下初、自動化測定を確立

同社の悩みは、環境水や工場排水の測定は技術者の手分析による工程が多く、作業時間がかかること。受け入れ検査量が限られる上、測定データ

をスピーディーに顧客に提供するため、技術者が残業を強いられることも日常化していました。

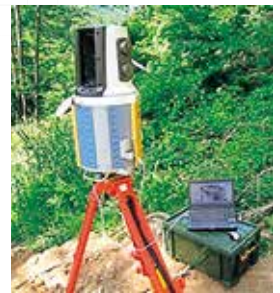
このような状況を改善したのが、日本工業規格の改正（2014年）により自動測定機による分析が認められたこと。同社では平成26年度ものづくり補助金を活用し、長野県下初となるオートアナライザー（連続流れ分析装置）を導入し、自動化測定を確立しました。

自動化測定確立のメリットは多大です。技術者の精神的負荷を抑え、ヒューマンエラーの低減を図るとともに、使用試薬の大幅な減少と使用電力の削減により測定コストを大幅に削減。測定により排出される廃液の量も格段に減少し、環境負荷も抑えられます。公的機関や企業から要望が多かった多検体の同時検査も可能になりました。

同社ではこのような処理能力アップとコストダウンにより、既存客から高評価を得るとともに、競合他社との差別化により新規取り引きの獲得にもつなげています。



オートアナライザー（連続流れ分析装置）



建設コンサルタント業務
（3Dレーザースキャナ測量）



株式会社科学技術開発センター

代 表 代表取締役 若林 恒雄
設 立 1984（昭和59）年2月
資 本 金 2,000万円
従業員数 32名
本 社 長野市北長池字南長池境2058-3



TEL.026-263-2010 FAX.026-263-2012
事業内容 水質・土壌等の分析・検査、大気・騒音・振動・悪臭等の測定・調査、特殊分析及び総合コンサルタント

<https://kgk-c.co.jp>